

新工場は
人類の夢へ実現の
高感度フレールド

倉

86



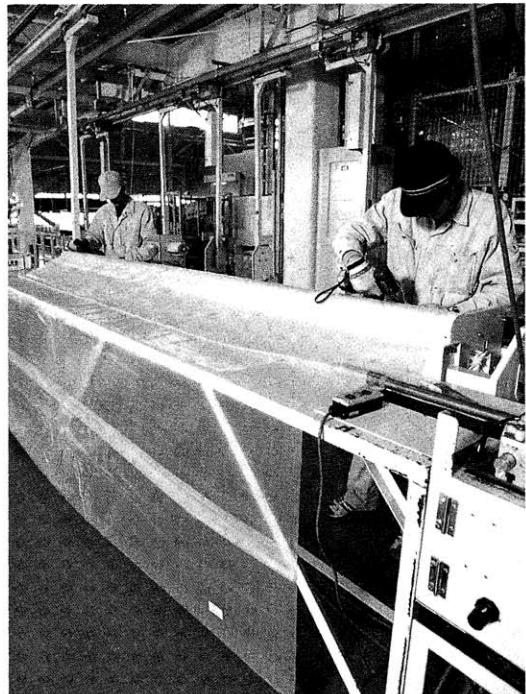
超音波感知でシャッターが高速開閉。新工場での増
産体制も整い、さらなる普及が期待される「門番」

小松電機産業株



穴開け機で鉄板にさまざまな形の穴が開けられる

1枚の鉄板を加工するのに用いられる穴開け用の金型は10数種類

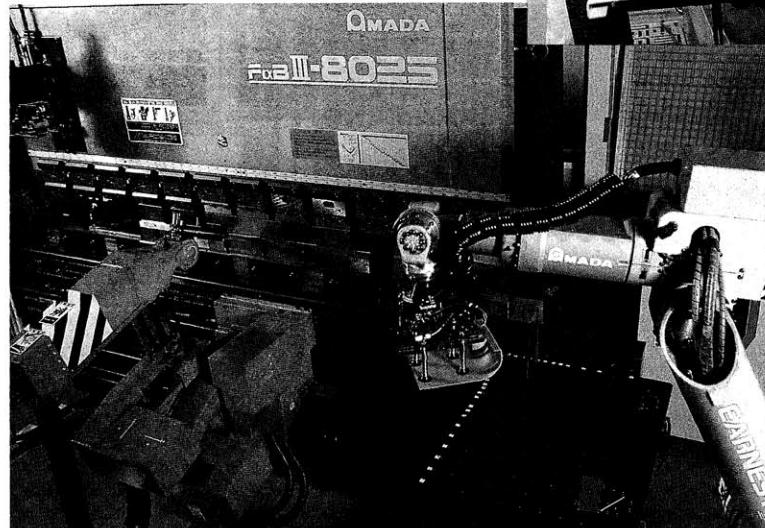


フッソ樹脂加工により優れた防汚性能と耐久性を備えた透明のビニールシートが張られる



ドイツ製の減速機構をベースに開発されたユニークな形のニューSDシステムで、高頻度の正・逆転に対する耐久性を実現

部材を曲加工する



小さな部材は、産業ロボットが曲加工

「人間の究極の目的とは、天寿が全うでき、楽しく愉快な暮らしを継続的に送れる社会の創造」とその哲学を語るのは、同社社長、小松明夫氏。事業もこの目的の追求を使命とすべきとする。

島根県八束郡八雲村に生まれ、宍道湖の変遷を見つづけてきた小松社長がライフルワークとして取り組むものは、水質浄化システムの開発である。九一年発売の集落排水自動制御監視システム「やくも水神」は、広域に点在する浄水処

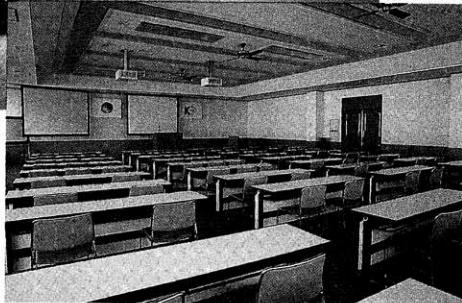
スチールシャッターでは、閉めると工場のなかが暗くなり照明代がかかる。しかし、開け放しては寒い風や埃も入る。また、フォーリフトの使用では、オペレーターが降りてシャッターを開閉しなければならないという不便もあつた。一九八五年に開発された「門番」は、こうした「一々ズをとらえて大ヒット。九一年には「ニュービジネス大賞」を受賞した。現在同社はこの分野で全国シェアの六割を占める「小さな巨人企業」となっている。

島根県・宍道湖に臨む湖南テクノパークに竣工した小松電機産業株の新工場で次々と生産される製品は、高速シートシャッター、「門番」。センサーを備え、フォークリフトが通過するたびに透明なビニールシートのシャッターを自動的に高速開閉する装置だ。

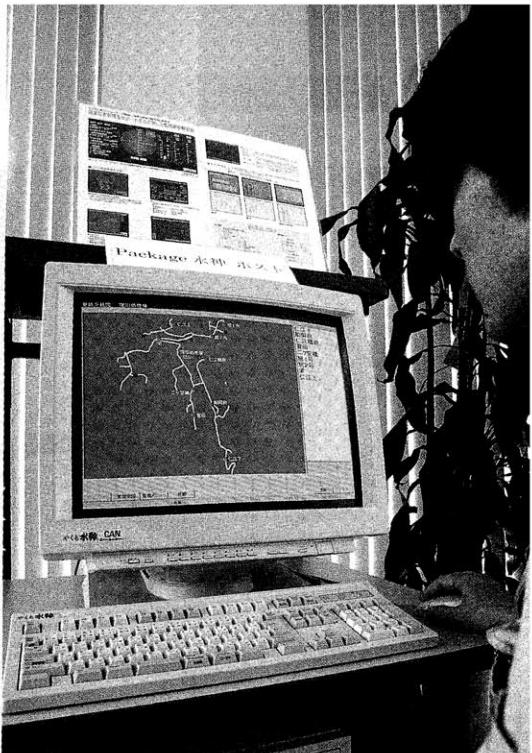
島根県・宍道湖に臨む湖南テクノパークに竣工した小松電機産業



新工場内の情報化も進む。食堂のテレビも電子掲示板として社内情報を伝達



2台のプロジェクター、講演テープの高速ダビングなど、コンベンション機能をもつホールは、120～150名規模の会議に対応



「パッケージ水神」のホストでは、広域の水処理情報を一括管理



「いま必要なのは金儲けの起業家ではなく志をもった本物の事業家」と語る小松社長。新工場の社長室の外には宍道湖の湖面が広がる



新工場概観。正面の銀色の社名は「月」を、西面の赤い社名は「太陽」を、中央の紺色の横ラインは水平線をそれぞれ表す



理施設やポンプ場を一般電話回線利用のネットワークで結び、管理機関に設置したホストコンピュータでデータを一括管理、きれいな水の豊かな生活に貢献するものだ。この水処理技術は、「NEWやくも水神」さらには「パッケージ水神」とバージョンアップ。九六年には、科学技術庁の「注目発明選定証」を受けた。

小松社長は、「HNS（人・自然・科学）研究所」を通じての文化事業、国内外有識者を招いて行う「縁結び世界大会」の開催など、未来に向けてのビジョンも積極的に提案。「かつて事業家たちが多くの起業家を育てたように、リーダーたるべき人間を育てたい」とし、リーダーを太陽に例える「太陽乃國構想」を提唱する。「もの作りが人材を育て、よい出会いがこころを進化させていく」との考え方と、新工場には、最新の生産設備のほか、「出会いの場」となる高機能のホール、ラウンジ、情報収集・発信機能を集約。リーダーたちが育ち、集うヒューマン・ファクトリーとして「人類の夢」の実現を目指している。

● 小松電機産業株 本社：島根県八束郡八雲村東岩坂一八〇／設立昭和四十八年／資本金：一億円／年商：四十一億円／従業員数：八十六名

●撮影：寺内雅人 文：鈴木一浩